

# 第4回「芦屋国際俳句祭」受賞の皆さん

問い合わせ  
国際俳句祭実行委員会事務局 ☎21-1036

「芦屋国際俳句祭」の受賞者は、河野美奇氏、高岡啓子氏をはじめ、8部門・42人のかたがたに決定しました。多数の投句、ありがとうございました。  
授賞式は、2月11日(土・祝)の午前10時から、ルナ・ホールで行われます。  
また、同日の午後1時からルナ・ホールで「第9回国際俳句シンポジウム」が開催されます。

高浜虚子顕彰俳句大賞  
人去れば風に鎌上ぐいぼむしり  
河野美奇氏(東京都)

文部科学大臣奨励賞  
秋耕やけふ出来ることひとつより  
高岡啓子氏(アメリカ)

【一般の部】 下記のかたのほか、10人のかたが審査員奨励賞を受賞されました。  
高浜虚子俳句奨励賞 秋日和いのちあるものみな飛べり 高橋千雁氏(大阪府)  
芦屋国際俳句大賞 朝露やあたらしきけふ始まりぬ 井上芙美子氏(兵庫県)  
芦屋国際俳句奨励賞 露踏んで足より力湧いてくる 古賀昭子氏(福岡県)  
芦屋市長賞 褒められてより瓢の笛もう鳴らず 井田すみ子氏(大阪府)  
朝日新聞社賞 真青なる空よりおちて来し小春 大谷千華氏(兵庫県)

【青少年の部】 下記のかたのほか、10人のかたが審査員奨励賞を受賞されました。  
高浜虚子俳句奨励賞 あかしろあおせんが いっぱい うんどうかい おくむらきみかさん(徳島県)  
芦屋国際俳句大賞 おたまじゃくし 体よじって進んでく 松山愛未さん(千葉県)  
芦屋国際俳句奨励賞 いがぐりのやわらかそうな青い色 柚木奎亮さん(兵庫県)  
芦屋市長賞 地球儀で数センチ分鳥帰る 香川翔兵さん(大阪府)  
朝日新聞社賞 今の風きっと近くにきんもくせい 宇山譲二さん(千葉県)

【外国人の部】 下記のかたのほか、5人のかたが審査員奨励賞を受賞されました。  
高浜虚子俳句賞 spring sunshine - /my dead wife's handprints/on the window pane(春日差し / 亡き妻の手の跡が/窓ガラスに) David Cobb氏(イギリス)  
芦屋国際俳句大賞 Hydrangeas/Flowering on the tumulus - /A terrifying deep blue(古墳に咲く/紫陽花 / ぞっとする濃紺) Stephen Gill氏(日本)  
芦屋国際俳句奨励賞 first light - /the snowy egret's/black(曙光 / 純白の鷺が/黒い) John Ower氏(アメリカ)  
芦屋市長賞 passing clouds/I wait for the roofers/to float away(つぎつぎと流れる雲/屋根屋が漂いゆくのを/待つ私) Marie Summers氏(アメリカ)  
朝日新聞社賞 Fireman's garden - /an old man is watering/the red dahlias(消防夫の庭 / 老人が水をやってる/赤いダリア) Eduard Tara氏(ルーマニア)

## 女性センターフェスタ展示作品募集

3月4日(土)開催の「女性センターフェスタ」に展示する作品を次のとおり募集します。  
「(さんかく・まる)作品展」  
対象 子どもから大人まで(先着100人) 募集作品 画用紙(8ツ切程度)に、(三角)や(丸)の形を使った作品、または(参画)や(輪)からイメージする作品 応募方法 2月13日(月)までに、女性センターへ直接持参  
【ワークショップに参加して展示作品を創作しませんか?】  
日時 2月11日(土)午前9時30分~正午 会場 市民センター美術室 対象 小学生先着20人 持ち物 クレヨン、絵の具、エンピツなど 講師 美術博物館学芸員  
申し込み 2月6日(月)までに、電話・ファクス・はがき・Eメールで。または直接窓口へ  
問い合わせ 女性センター ☎38-2023/FAX38-2175  
(〒659-0092 大原町2-6ラ・モール芦屋2階) josei-ce@city.ashiya.hyogo.jp

## 兵庫県住宅再建共済制度に加入しましょう

震災の教訓を踏まえ、災害発生時の自助努力や公的支援の限界を補い、助け合いの精神に基づき住宅の再建を支援する県の制度です。  
この制度は県内に住宅を所有しているかたが、平常時に年5,000円(初年度は月額500円)を負担することで、全ての自然災害を対象に、住宅が半壊以上の被害を受けたときに住宅の再建・購入した場合に600万円、補修した場合には被害の程度に応じて50~200万円、再建・購入・補修をしない場合にも10万円を給付するものです。  
保険とは異なるため、既存の地震保険等に加えて加入することも可能です。小さな負担で大きな安心が得られるこの制度、ぜひご加入ください。  
《負担と給付》  
共済負担金 5,000円/年(ただし新規加入年度は500円/月)  
共済給付金 自然災害で半壊以上の被害を受け、住宅再建・購入した場合600万円  
住宅を補修した場合  
全壊 200万円 / 大規模半壊 100万円 / 半壊 50万円  
それ以外で居住を確保した場合 10万円  
《加入申込書配置場所》  
県庁、県の出先機関、市(区)役所(町役場)  
郵便局、金融機関(三井住友銀行、三菱東京UFJ銀行、但馬銀行、みなと銀行、池田銀行、信用金庫、信用組合、労働金庫等)  
病院、医院、歯科医院の一部  
大規模店舗(コープこうべ、そごう、大丸、ヤマトヤシキ、サティ、マックスバリュ、関西スーパー、コーナン等)  
駅ターミナル(神戸電鉄、神戸高速鉄道、山陽電鉄、神姫バス等)  
《申し込み》県庁、県の出先機関、市(区)役所(町役場)、郵便局等にある加入申込書に必要事項を記載のうえ、郵送で申し込みます。  
詳細は、県住宅再建共済基金(☎078-362-9400)、または下記ホームページ(<http://web.pref.hyogo.jp/jutakukyosai/>)へ。  
問い合わせ 住宅課 ☎38-2026

## 冬の公民館講座

【デジカメ・スキルアップ講座 中級者向け】  
日時 2月17日~3月17日(金)午前9時30分~11時30分<全5回> 会場 市民センター217室 定員 16人(フォトショップ・エレメンツ4.0の入ったWindowsのノートパソコンを持参できるかた対象) 講師 片山綾子氏 受講料 2,500円  
【ホームページ作成講座】  
日時 2月17日~3月17日(金)午後1時15分~3時15分<全5回> 会場 市民センター217室 定員 16人(ホームページビルダー Ver.10の入ったWindowsのノートパソコンを持参できるかた対象) 講師 片山綾子氏 受講料 2,500円  
申し込み 往復はがきに 講座名 住所 氏名 電話番号 年齢 性別を記入し、2月3日(金)消印有効 までに公民館へ。(市内在住優先)  
問い合わせ 公民館 ☎35-0700(〒659-0068 業平町8-24)

## 芦屋税務署からのお知らせ

問い合わせ 芦屋税務署 ☎31-2131(代表)

確定申告説明会  
日時 2月2日(木)  
午前10時30分~正午 午後2時30分~4時  
会場 市民センター401室  
内容 各種所得の計算方法や確定申告書の記載方法を説明(譲渡所得関係を除く)  
説明のみで、申告書の受付はしません。  
税務署から送付の確定申告書をご持参ください。

税務署以外の申告会場  
確定申告書は、芦屋税務署のほか、次の会場でも提出できます。会場では、職員や税理士が書き方の相談(贈与・譲渡所得の申告相談は除く)に応じています。  
日程 2月6日~3月10日(土・日曜を除く)  
午前9時30分~正午、午後1時~4時  
相談受付は、3時30分までです。  
会場 ラポルテホール(ラポルテ本館3階)

国税庁ホームページで確定申告書が作成できます!  
パソコンに金額等の必要事項を直接入力することにより、税額等を自動計算し、確定申告書が作成できる「所得税の確定申告書作成コーナー」(<http://www.nta.go.jp>)を掲載しています。ご利用ください。  
「e-Tax」で申告・納税を!  
「e-Tax」は、自宅や事務所にいながら申告や納税ができる、国税電子申告・納税システムの略称です。詳しくは、ホームページ(<http://www.e-tax.nta.go.jp>)で。

## 消費生活センターからのお知らせ

= 牛乳・乳製品料理教室 =

日時 1月30日(月)午前10時~午後1時  
会場 市民センター料理室  
対象 市内在住・在勤者(先着28人) 子ども同伴不可  
内容 かわり巻ずし・あったかつくね汁・ゆずの香茶巾・マシュマロのお菓子  
講師 日本乳業協会・野間浩子氏  
持ち物 エプロン、三角巾、ふきん、筆記具、タッパ  
申し込み 消費生活センターへ

問い合わせ 消費生活センター ☎38-2179(経済課内)

= 出前講座のご案内 =

消費生活センターでは、10人以上のグループからの依頼があれば、希望の場所へ出向いて講座を行っています。消費生活相談事例をもとにしてその時々多発している悪質商法についてや食品の安全等について等、また希望に応じてリサイクル手芸の講座も行います。  
1時間~2時間程度でご相談に応じますので、ご希望のテーマをお知らせください。ビデオの視聴も可能です。

## 子育てセンター「節分の会」

「鬼は外、福は内」  
みんなで豆まきをして春を呼びましょう

日時 1月28日(土)午前10時30分~正午  
会場 体育館・青少年センター 柔道場・剣道場  
対象 就学前の乳幼児と保護者(当日、直接会場へ)  
内容 お面づくり・豆まき・お話など  
持ち物 お面用の紙袋(子どもの頭がすっぽり入るもの) マジック、はさみ、のり、ビニール袋(靴用)

問い合わせ 子育てセンター ☎31-8006  
(川西町11-10 精道幼稚園内)